Planta nana, subacaulis vel graciliter caulescens. Folia caespitosa, lineari-lanceolata usque oblonga, pinnatisecta. Flores pauci, axillares, longe pedicellati; corollae tubus calycem 2-3 plo longior; galea tenuiter rostrata, rostris rectis vel leviter arcuatis.

Typus. *Pedicularis perpusilla* Tsoong.

*　　*　　*　　*

1983年の東京大学植物調査隊がネパール中部のチベット国境に近い Rolwaling Himal の Yalung 峠で採集したシオガマギク属の新種である。四川西部からチベット，ヒマラヤに分布し，6種ほど知られる Perpusillae 列に属す，高さ 3-4 cm の小さな高山植物である。Perpusillae 列はまだ正式に記載されていないのでその記載も行った。

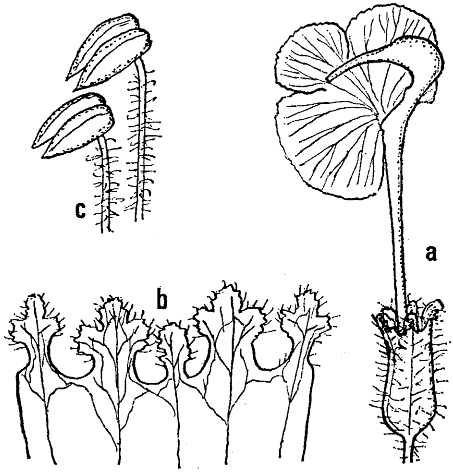


Fig. 2. *Pedicularis yalungensis* Yamazaki. a. Flower, ×1.5. b. Calyx-lobe, ×5. c. Stamens, ×7.5.

---

□佐藤潤平：**武蔵野植物誌** 1122pp. 1986. 科学書院，東京. ￥14, 000. 佐藤氏は1970年2月6日，74才で亡くなられ，その遺稿を佐藤とし子夫人が中心となって出版したもの。氏は永年満州植物の調査に活躍されたが，氏の多数の採集品はすべて同地に残されてきた。しかし，中国の「東北植物誌」には氏の標本がよく引用されていて，中国植物の研究に非常に役立っている。本書は名は武蔵野植物誌とあるけれど，清瀬周辺の植物の解説書である。清瀬に生育する野生および栽培植物の写真と記載，清瀬のどこにあるかが記されており，この付近の殆んどの野生植物が集められている。清瀬は急速に宅地化されているので，ここに載せられた写真は将来貴重な記録となるであろう。なお，148頁と 149 頁が刷り違っており，オオイヌノフグリとタチイヌノフグリの果実が取り違えて名がつけられている。ドウダンツツジの写真は逆さまである。写真があまり良くないので決めかねるが，同定が違うのでないかと思うものも2，3あるなど，いくつかミスが見つかるが，貴重な本であることに変りない。人目につかない本と思われるので，発行所の住所をあげておく。東京都杉並区善福寺 4-24-6　科学書院。　(山崎　敬)